



津奈木中  
学校便り  
No. 3

# 夢実現・挑戦

令和5年6月29日  
津奈木町立津奈木中学校  
校長 高橋 裕二

## 郡市中体連総体、団体はすべて準優勝!!

天候が心配されましたが、6月17日(土)、18日(日)、24日(土)の3日間、郡市中体連総体が開催されました。本校から団体競技に野球部、女子バレーボール部、緑東中との合同で女子バスケットボール部の3つの部活動と、個人競技でバドミントン、空手に参加し、空手の1年長濱さんが形と組手で県大会出場を果たしました。

野球部は、初戦の田浦・湯浦中の合同チームに先制されましたが、逆転勝ちで決勝に進みました。決勝は、水俣市の4校合同チームと対戦し、序盤は1点を争う好ゲームでしたが、終盤に得点を取られ、敗れました。3人の投手が交代で2試合とも頑張ってくれました。



【野球・決勝戦】

女子バレーボール部は、初戦で田浦中に勝利しましたが、決勝では佐敷中に敗れました。2試合とも粘り強いプレーが随所に見られました。なお、1週間前の県中学選抜選手権大会に郡市代表で出場し、初戦で参加32チーム中、ベスト4に進出した飽田中学校にフルセットまで持ち込む好ゲームを見せてくれた後だけに、悔しい敗戦となりました。



【バレーボール・田浦中戦】

女子バスケットボール部は、初戦で湯浦中に勝利しましたが、決勝では水俣二中に敗れました。少ない人数のため、選手はほぼフル出場頑張ってくれました。また、新チームから合同のため、平日はそれぞれの中学校で練習しながら、大会参加や練習試合を重ねてきました。

大会を通じて思ったことは、「どのスポーツも勝つことは難しい」ということです。試合に勝つためには、個人の技術面やスピード、パワー、持久力などの走力・体力面に加え、チームワークや精神的な強さも要求されます。

今回で引退する3年生は、今後の学校生活や将来の仕事等に生かしてほしいと思います。

## 「今日(今)できることを、全力で」

学校は様々なことを学ぶ場ですが、何といても授業が中心になります。生徒一人一人の夢の実現のために、確かな学力を身に付けることが学校の役割であり、使命でもあります。

学校は、1日6時間、年間で1015時間以上の授業を行います。当たり前のことですが、毎時間の授業が、生徒にとっても先生にとっても一番大切になります。部活動や学校行事と同様に、授業も真剣に集中して臨まなければなりません。

津奈木中の生徒達は、「授業中積極的に発表する」「先生の問いかけに声を出して反応する」など意欲的に授業に取り組んでいます。



反面、「私語が多い時」「提出期限が守れない」「授業の忘れ物が多い」などの課題もあります。

一般的に、勉強ができるできないは生まれつきの能力だと思い、勉強を諦めている人がいます。努力せず生まれつきの能力だけで、勉強やスポーツ、芸術などで結果を残す人はいないと思います。以前、一流ピアニストは1日8時間練習すると知り、「世の中に天才はいない」と思いました。

学力向上のポイントは、学習に向かう態度や姿勢です。今日の授業は、人生で最初で最後です。今日できることを、全力で取り組んでください。

昭和62年4月、大学を卒業したばかりの私は、長島からフェリーで渡り、天草最南端の牛深市の久玉中(現:牛深東)に赴任しました。久玉中は、各学年2学級の生徒数約200名で、数学教師は私一人でした。数学の学力は、私の指導力次第で決まり、重責とともにやりがいも感じました。

先日、初めて担任した生徒のお父様がお亡くなりになられたことを、新聞で知りました。私のアパートが近かったこともあり、度々自宅に呼んでくださり、学校や教師の在り方、子どもの教育について語ってくださりました。時には、他の保護者の方もおられ、にぎやかで貴重な時間を過ごし、牛深は教師としての原点の場所となりました。

後日、久しぶりに牛深に行き、私の度重なる訪問によりご迷惑をかけたお母様、女子生徒とは卒業以来33年振りに再会しました。短い時間でしたが、当時にタイムスリップしました。